

徳島通運株式会社

運送業は荷物の上げ下げがメインの仕事、前向きな姿勢と経験を活かし、配置転換と資格取得で働き続ける



障害者でも必須の乗務職フォークリフト運転

●人工透析しながら課長としての経験を活かす

現在、徳島通運株式会社には5人の障害者がいます。腎臓機能障害1級で週3回の透析が必要な田中さん、義足使用の井内猛さん、左股関節機能障害の水口さんは徳島通運で勤務中に受障し障害者となりました。

「田中さんの場合、以前は小松島支店の営業担当課長でしたが受障後は配置転換を行い、より負担の少ない管理部門に異動していただき、道路管理や修繕費管理、車輛管理に就いてもらいました。会社としては責任者としての知識や経験を活かしていただくこうと考えたわけです」というのは総務部長の木村政博さん。

透析が必要な田中さんのために会社側は課長の地位や賃金を据え置き、勤務時間を短縮する配慮も行いました。

●脚に受障しても配置転換で働き続ける

一方、井内猛さんが受障したのは3年ほど前。リフトで作業中に急な坂でブレーキがきかず、リフトの下敷きになり片脚を失いました。2トン車の運転手として集配業務に就いていた井内猛さんは1年程休職し職場復帰。会社側は井内猛さんにデスクワークにシフトしてもらい、彼が培ってきたノウハウやスキルを生かそうと運行管理者の資格をとってもらうことにしました。

左股関節機能障害の水口さんの場合、引越しセンターの作業員（技能職）で入社。脚を悪くしてからクレーン免許を取得。今はクレーン車やフォークリフトなど、下肢のハンディが出ない仕事に従事しています。

●資格を取ることで会社になくしてはならない人材になる

井内猛さんの上司で、徳島支店次長の松本進さんは言います。「仕事自体は井内猛さんの方が熟知しているし、きちんと結果を出してくださるので、すべてお任せしています。管理職は現場の細かいことまではわかりませんが、井内猛さんには外で働いた経験があるので誰がどこでどんな作業しているとか、あそこのお客さんの庭先ではこういう作業を



徳島支店次長の松本進さん

やっているとか、私たちでは想像もつかないこともわかっている。指示も適切ですし、彼にはさまざまな部分に気を配っていただき、『ああ、なるほどなあ』と感心するケースも多いですね。そういう意味で、井内猛さんの働きは会社にとっても大きなメリットになっています」とのこと。

また、お客さんの庭先に行った際、フォークリフトに乗って作業することもあります。フォークリフトの運転は、ドライバー全員が必須なのだそうです。

●経験を活かし夜間の出発呼で運行業務

一方、左上肢欠損で深夜に小松島支店で出発呼を行っている井内憲治さんは、障害を持ってからこの会社に移ってきたそうです。以前はドライバーで、港で荷物を扱っていました。

「PC操作のできない井内憲治さんは今66歳で定年はとうに過ぎていますが、受障後に運行管理者の資格を取り、基礎教育を受けています。運行における出発呼で夜間の運行業務にきてもらっています。運行指示やアルコールチェック、免許所持などを対面点呼でチェックする出発呼業務で、夜の8時から朝まで働いています」とのこと。

会社として、障害者だからといって特別扱いはしていないといいますが、本人の能力を活かし、適材適所を実行されています。新規入社の場合は受け入れる上司や同僚側の準備もあるので通達を出し、簡単な業務から入ってもらうなどの配慮をしていきたいとのことでした。



上司と確認する運行管理の資格を持つ井内猛さん



業務担当課長として指導する田中さん

現場レポート

業務部課長／官公庁への各種手続き 田中 守さん
腎臓機能障害



今のセクションに移り体はだいぶ楽に

私が発病したのは平成12年の冬。その時は小松島支店の営業課長でした。運転はしていませんでしたが、管理者として一般的なことは全部やらなければならませんでした。その年の8月から人工透析を始めました。透析をするようになり体は楽になりました。今は業務課に移ってデスクワークだけをしています。会社の方で気を遣っていただき、こちらのセクションに転勤させていただいたという感じです。以前に比べるとだいぶ楽になり、ストレスも溜まらなくなりました。

企業間配達便の操縦業務及び運転 井内 猛さん
左下肢欠損

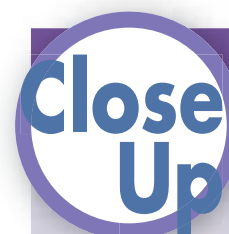


今でもフォークリフトの運転は得意

朝は5時から仕事に就いています。到着した商品を検品し、行き先別に仕分けをして徳島全土に配達に出すんです。それが終わると席につき、県外から戻ってきた人の運転日報をチェックしてハンを押し配車します。今もフォークリフトの運転はやっています。午後からは外に出てパレットを片づけます。種類別に分けて1人でそれを並べます。受障後の転職は考えませんでした。1から新しいことをやるよりはここにいた方がいいですね。仕事の中身が変わってもやりやすいことは全然ないですね。会社がチャンスをくれたので運行管理資格も取りました。

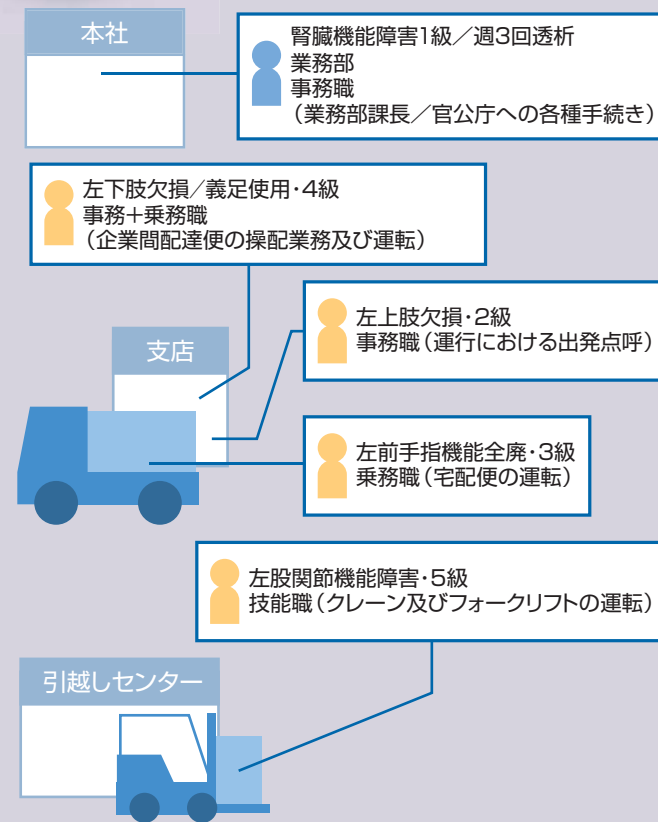
企業プロフィール

所在地 徳島県徳島市
事業所数 14店
常用雇用者数 350名
雇用障害者数 5名（事務職2名、乗務職2名、事務+乗務職1名）



障害者の職務内容

肢体不自由者 内部障害者



雇用管理のポイント

前向でポジティブ、やる気のある方大歓迎!!

本社執行役員／総務部長
木村政博さん



障害者雇用については親会社の日本通運からも通達があり、人材探しはハローワークに一般事務で求人を出しました。去年退職しましたが、一時は女性の方もいらっしゃいました。脚の悪い方で下半身に補助具が必要でしたが、事務をする上ではまったく支障がなかったですね。今後もやる気のある方にはどんどん門戸を開いていきたいし、採用時や

採用してからも、現状や希望を根気よくヒアリングし、要望に沿っていきたくと思っています。

企業として最低限度の責任は果たさなければなりません。わが社の場合は従業員が比較的多く、内勤業務も多いので比較的障害者雇用がしやすいという側面があり、現在、障害者の雇用率は全社員の2.9%に達しています。